熊本県議会議員　坂田孝志

県政報告

第19号
平成30年
1月1日発行

坂田孝志事務所
〒869-4701　八代市千丁町太牟田1300-3
TEL0965-46-2200　FAX0965-46-1707
URL http://www.sakata.gr.jp
E-mail takashi@sakata.gr.jp

決算特別委員長として報告！

平成二十九年十二月定例県議会

決算特別委員長として采配する（12月14日）

有明海・八代海再生及び地球温暖化対策特別委員長に再任される（6月22日）

決算特別委員長報告・概要

第1 決算の概要

一般会計及び特別会計合わせて、歳入予算現額1兆5,383億8,900万円余に対し、収入済み額は1兆1,726億5,200万円余、また、歳出予算現額1兆5,383億8,900万円余に対し、支出済み額は1兆1,358億3,200万円余となっております。

その結果、歳入歳出差引額は368億1,900万円余で、さらに、翌年度へ繰り越すべき財源158億4,900万円余を差し引いた実質収支額は209億6,900万円余となっております。

第2 施策推進上改善または検討を要する事項等

【共通】

①増大する震災関連業務へ的確に対応するためには、職員の健康管理が重要であり、特定の部署、職員へ過度な業務の集中が生じないよう、引き続き人員の確保に努め、職員の健康管理に十分留意すること。

②熊本地震関係の繰越事業については、現在の事業を取り巻く状況から見て、期限内での完了が困難な事業も出てくると思われる。こうした繰越事業を確実にやり遂げるため、工期の設定について必要な対応を行うなど、事故繰越も含め、個々の状況を踏まえた柔軟な対応を検討すること。

【総務部】

③平成28年熊本地震復興基金交付金において、交付申請に至ったものが少なく、多額の不用額が生じているが、引き続き事業の円滑な執行に向けて必要な対策を講じ、被災者に寄り添う考えのもと、予算の着実な執行に努めること。

【企画振興部】

④地方創生加速化交付金の対象となる事業の認定について、所管する内閣府との間における認識の相違により、一部事業が対象外となったが、今後は、同様の事案が生じないよう、事前の確認を確実に行うよう努めること。

熊本地震により落橋した南阿蘇村の阿蘇大橋

【健康福祉部】

⑤児童保護費負担金等については、少額の不納欠損処分も散見されるが、県民負担の公平・公正の観点から、今後も資産調査等を確実に行うなど、引き続き適切に対応すること。

【環境生活部】

⑥地域女性活躍推進交付金について、国へ8件の申請を行い、うち3件が不採択となっている。女性の活躍の取り組みを推進するため、事業内容を十分精査し、予算を確保できるよう工夫し、事業効果が高まるよう努めること。

【商工観光労働部】

⑦国際観光振興促進事業委託について、観光パンフレット作成業務の一部が完了していないにもかかわらず、検査員による検査などの履行確認が不十分なまま委託料の全額を支払ったことを監査で指摘されているが、今後、こうした誤りが生じないよう、複層的なチェック体制を構築するなど、再発防止に努めること。

【農林水産部】

⑧入札制度の見直し等について、県においては、農林水産部と土木部が連携して制度の改善等を随時行っているが、市町村に対しても、これらの情報を提供するなど、連携の強化に努めること。

【土木部】

⑨職員による書類の偽造については、職員の規範意識の徹底を図るとともに、業務の進捗状況の確認などチェックを行い、再発防止に努めること。

【教育委員会】

⑩未収金については、育英資金以外の未収金も含め、教育委員会の中に未収金回収の専門知識を有する職員による、横断的な組織を設置するなどの対応策を検討すること。

【警察本部】

⑪警察職員の定員について、本県の警察官1人当たりの負担人口は、全国平均を上回り、九州でも一番多い中で治安情勢の改善に向け努力されているが、更なる県民の安全・安心の確保のため、できるだけ定員を増員できるよう、引き続き努めること。

【企業局】

⑫阿蘇車帰風力発電所2号機については、故障により長期間停止しているため、速やかに原因究明と対応策の検討を行い、期限を定めて継続の可否について判断すること。

【病院局】

⑬熊本地震の影響による患者の増加や、思春期医療に係るニーズの高まりなど、こころの医療センターの重要性が増しているため、スタッフ等受け皿となる体制にも十分配慮しつつ、引き続き経営改善に取り組むこと。

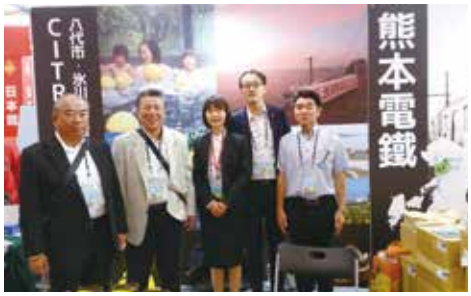
様々な要望活動

政府及び政権与党に対する予算要望、インバウンド効果に結びつく観光の振興、熊本県農産物の輸出促進等、本県産業の更なる推進を図る。

自民党二階幹事長に熊本地震の支援を要望する（1月22日）

香港の高級スーパーに並ぶ熊本の晩白柚といちごのゆうべに（2月1日）

賴清徳台南市長（現在は台湾政府行政院長）と交流を深める（5月18日）



台湾高雄での地元特産物PRコーナーを訪問し激励（5月19日）

香港EGLツアーズ袁社長に香港線復活を要請（2月1日）

二階全国土地改良事業団体連合会会長へ予算確保を訴える（7月4日）

熊本県との友好姉妹都市中国広西壮族自治区訪問（7月10日）

農村振興局長に中村市長、藤本町長と国営かん排事業の採択を迫る（7月5日）

山本有二農林水産大臣に予算確保を訴える（7月4日）

各種委員会活動

「あたたかさ」と「ゆとり」と「ふれあい」が重視された益城町仮設住宅みんなの家（5月15日）

益城町総合体育館の被災状況を調査する（5月15日）

八代工業高校の実習授業風景（1月16日）

議会では、決算特別委員長を始め有明海八代海再生対策特別委員長、建設常任委員として、議案の審査、地球温暖化対策等の環境保全・漁業の振興、災害関連予算の議決、関係省庁への要望等、各地域の皆様の要望を踏まえ精力的に取組みました。

クマモト・オイスターの稚貝（7月20日）於水産研究センター

熊本地震により崩壊した阿蘇の活断層（5月15日）

横江大橋の迂回路の崩壊状況を県に訴える（8月15日）

有明海・八代海再生及び地球温暖化対策特別委員会にて八代海を視察、各地区漁業組合長と意見交換を行う（7月19日）

後援会活動一年のあゆみ

親睦ゲートボール大会（5月29日）

後援会新春の集い（1月14日）

田嶋副知事より祝辞を賜る

山本県連会長から激励の言葉を頂く

還暦祝いの皆様を妻と一緒に出迎える（3月29日）

各地域の行事に積極的に参加

不知火干拓入植50周年記念式典に於いて先人の苦労を讃える（4月29日）

新型いぐさハーベスタ発表される（3月27日）

氷川町消防団出初式で団員を激励（1月15日）

八代退職校長会総会並びに「八代に桜を植える会」総会において祝詩を述べる（5月20日）

千丁校区福祉のつどいで車椅子から祝辞を述べる（11月26日）

八代港国際クルーズ拠点整備事業着工式でくまモンとのツーショット（11月25日）

北朝鮮に拉致された日本人を救出するため街頭署名をお願いする（6月13日）

農林水産大臣賞受賞の鏡オイスターハウスオープニングでの乾杯の発声（12月9日）

鏡町北新地の小堤の崩壊状況を県に説明（11月17日）

特産ぼたもちと鮎をたくさんご馳走になりました（11月12日）

現在の主な役職

- 決算特別委員長
- 有明海・八代海再生及び地球温暖化対策特別委員長
- 建設常任委員会委員
- 自由民主党県連組織委員長
- イ業振興議員団顧問
- 私学振興議員連盟代表幹事
- 観光・物産振興議員連盟副会長
- 農村基盤整備議員懇話会幹事長
- 果樹農業振興議員連盟幹事長代理
- 水産振興議員連盟幹事
- 八代天草架橋建設促進議員連盟副会長
- お茶問題研究会幹事長
- 海上保安議員連盟幹事
- 防衛議員連盟委員
- 保育園議員連盟委員
- 郵政懇話会委員
- 武道・スポーツ議員連盟委員
- 全国大規模農業水利事業協議会副会長
- 九州土地改良区連絡協議会会長
- 熊本県土地改良事業団体連合会副会長
- 八代平野北部土地改良区理事長
- 氷川下流土地改良区連合副理事長
- 八代市軟式野球連盟会長